

情報提供日：令和8年10月15日

初公開作品・市民遺産「鈴木草牛の屏風画」をはじめ約20点を展示 郷土の水墨画家「鈴木草牛展」(10/24～)

龍ヶ崎市教育委員会では、郷土の水墨画家「鈴木草牛展」を、令和8年10月24日(土)から11月29日(日)まで、龍ヶ崎市歴史民俗資料館で開催します。

鈴木草牛氏(牛久市出身)は、小川芋銭に師事して数多くの作品を世に排出した水墨画家で、戦後の新制龍ヶ崎中学校の美術教師を務めるなど、本市にゆかりの深い人物です。

郷土である茨城の四季折々の自然、農漁業などの暮らし、牛久沼をはじめとする水郷風景を温かみのあるタッチで数多く描きました。



▲鈴木草牛の屏風画 1948年

戦前は世相や人物をおもしろおかしく描く漫画記者を務めた時期もあり、1948年(昭和23年)当時の有名な政治家やプロ野球選手などの似顔絵を描いた作品「鈴木草牛の屏風画」(市内龍泉寺所蔵・2015年(平成27年)龍ヶ崎市民遺産認定※)は当館で初公開となります。屏風画と同じくユーモアを感じさせる1953年(昭和28年)当時の「新制龍ヶ崎中学校の先生方」を描いた横長の無名の逸品も初公開します。

今回の展示では、墨の濃淡が特徴的な「新利根川」や「河畔(かげ)」、鮮やかに彩色された「フラメンコ」や「タヒチ」などに加えて、近年市民の皆様からご寄贈いただいた作品を含む約20点を展示し、草牛の画業の一端を紹介します。

※龍ヶ崎市の歴史・文化を象徴する文化財(国・県・市指定文化財以外)や、特筆すべき自然・景観などで、地域の保存・活用や振興に寄与するものを市教育委員会が認定するもの

【主な展示資料】

鈴木草牛の屏風(1948年)／新制龍ヶ崎中学校の先生方の似顔絵(1953年)／フラメンコ2(1972年)／雪(1971年)／ミナレット(トルコ)(1972年)／河畔(かげ)(1958年)／水郷(ポプラと牛)(1969年)／山肌(1962年)／タヒチ(1974年)／水郷(1981年)／牛久沼(1960年)／龍ヶ崎並木(1946年)／雪 龍ヶ崎新町(1947年)／田植え龍ヶ崎(1947年) など

■期 間	令和8年10月24日(土)から11月29日(日)まで
■場 所	龍ヶ崎市歴史民俗資料館 企画展示室 (所在地:龍ヶ崎市馴馬町2488番地)
■開館時間	午前9時から午後5時まで
■休 館 日	毎週月曜日 ※11月23日(月・祝)は開館、11月24日(火)休館
■入 場 料	無料

担当課

龍ヶ崎市歴史民俗資料館
(龍ヶ崎市教育委員会 文化・生涯学習課 文化学習推進グループ)
担当者: 油原(ゆはら) 連絡先: 0297-64-6227(直通)

郷土の水墨画家

鈴木草牛展



新利根川 1958年 30号



鈴木草牛の屏風画① 1948年



鈴木草牛の屏風画② 1948年



新制龍ヶ崎中学の先生方の似顔絵 1953年 25×161cm



フラメンコ(2) 1972年 50号



河畔(かげ) 1958年 20号

2026年10月24日(土)～11月29日(日)

龍ヶ崎市歴史民俗資料館

○開館時間 午前9時～午後5時

○入館料 無料

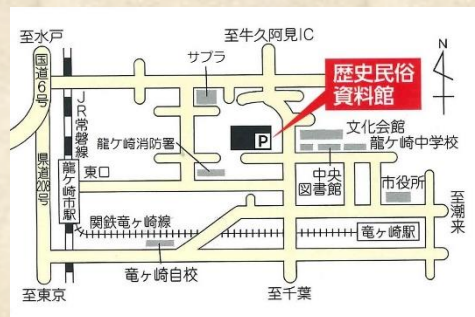
○休館日 月曜日(祝日の場合はその翌日)

〒301-0004 茨城県龍ヶ崎市駒馬町2488番地

TEL 0297-64-6227

URL: <http://ryureki.org>

主催: 龍ヶ崎市教育委員会



JR常磐線上野駅から龍ヶ崎市駅まで約50分
駅からタクシーで資料館まで約10分

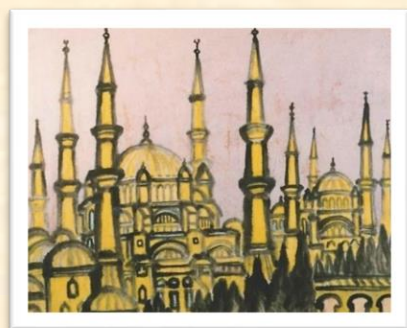
○ 郷土の水墨画家 鈴木草牛展

鈴木草牛は小川芋銭に師事して数多くの作品を世に排出した水墨画家であり、戦後の新制龍ヶ崎中学校の美術教師を務めるなど、当市にもゆかりの深い人物です。郷土の風景である筑波山や水郷などを多く描いたことで知られる草牛ですが、戦前は世相や人物をおもしろおかしく描く漫画記者を務めた時期もありました。龍ヶ崎観音として親しまれる龍泉寺が所蔵する1948年(昭和23年)当時の有名な政治家やプロ野球選手などの似顔絵を描いた2双の屏風画は珍しく、龍ヶ崎市では「鈴木草牛の屏風画」として市民遺産に認定しています。同じくユーモアを感じさせる1953年(昭和28年)当時の「新制龍中の先生」を描いた横長の無名の逸品と合わせて初公開します。

この他、当館所蔵の墨の濃淡が特徴的な「新利根川」や「河畔(かげ)」、鮮やかに彩色された「フラメンコ」や「タヒチ」などに加えて、近年市民の皆様からご寄贈いただいた作品を含む約20点を展示し、草牛の画業の一端を紹介します。



雲 1971年 50号



ミナレット(トルコ) 1972年 50号



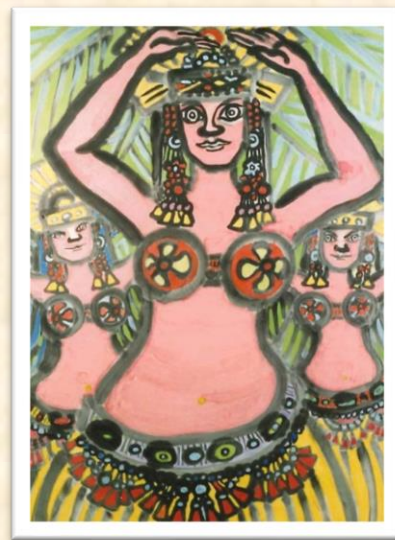
雪嶺 1964年 50号



水郷(ポプラと牛) 1969年 50号



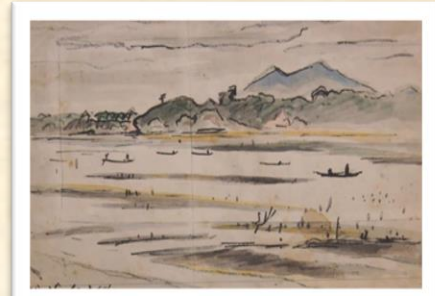
山肌(1) 1962年 100号



タヒチ(3) 1974年 50号



水郷 1981年 50号



牛久沼(1) 1960年 17×23cm



龍ヶ崎並木 1946年 23×29cm



雪 龍ヶ崎新町 1947年 22×29cm



田植え 龍ヶ崎 1947年 20×30cm

【鈴木草牛 略歴】

本名は巳代二(みよじ)／1905年(明治38年)、茨城県稲敷郡牛久村(現在の牛久市)に生まれる／1926年(大正15年)、東京美術学校(現在の東京藝術大学)日本学科へ入学／1929年(昭和4年)、第4回茨城美術展に初入選／美術学校卒業後、1931年(昭和6年)頃、みやこ新聞(現在の東京新聞社)に漫画記者として入社。その後、茨城新聞社の従軍記者として中国に渡る／1948年(昭和23年)、新制龍ヶ崎中学校で美術教師となり、20年間奉職／1962年(昭和37年)及び1965年(昭和40年)、茨城県美術展運営委員／1968年(昭和43年)、新興美術院理事／1972年(昭和47年)から数度にわたり外遊／1988年(昭和63年)、茨城県取手市で死去